



MSW ニュース No.135(R6.1-2月)号

発 行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部
編 集：大城 将平（沖縄リハビリテーションセンター病院）
事務局：沖縄県総合福祉センター 西棟 2 階 小規模団体室
〒903-8603 那覇市首里石嶺 4 丁目 373-1
TEL ; 090-3790-2756 FAX ; 098-893-1221
E メール ; jim.msw.oaswhs@gmail.com

回覧などの際はプリントアウトなどしてください

目 次

・研修報告	2～3p
・自主勉強会報告	4p
・実習生受入報告	5 p
・新入会員紹介	5p
・トピックス（琉球新報「福祉の窓」掲載済記事）	6p
・各部会からのお知らせ	7～8 p
・理事会議事録	8～10p
< 休 載 >	
入退院支援連携デザイン事業報告	
ゆたしく うにげ～さびら	

研修報告

2023年度初任者研修を受講して

沖縄県立中部病院 山城 優子

現在、急性期の病院で MSW として務めています。日々の業務を行いながら、実践に活かすために、実力を身につける必要性を感じていました。同時期に、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会の初任者研修開催の情報を知り、是非参加したいと思い申し込みました。

研修では、MSW として現場で働いていらっしゃる先輩方や、大学の先生、医師、看護師等、専門家の先生方が MSW に必要な価値、倫理、知識、技術について、詳しく、丁寧に、わかりやすくお教えくださいました。講義の中では、グループワークもあり、参加者である他医療機関の MSW の方々とチームを組み、数グループにわかれ、1つのテーマについてそれぞれの意見を出し合い、まとめ、グループごとに発表し、同じまたは異なる意見に触れる機会を得ました。

研修に参加して、MSW として、価値、倫理について、知識の必要性、チームで解決することの意味を学びました。

研修を終えて数ヶ月経ちましたが、研修を受けたという満足感と、必要な時にはいつでも研修内容をふりかえり研修資料で確認できるという安心感があります。

今回受けた研修を基に、これからも MSW として自己研鑽に努めています。

2023年度初任者研修を受講して

豊見城中央病院 入退院支援室 鈴木 ちひろ

私は今回の研修を通して、「チーム医療において MSW の役割の重要性」を再認識しました。その中でも私が 1 番印象深く勉強になったのが、カード方式事例検討会です。事例に対して、アセスメントしたい項目を書き出すのですが、私は MSW として 2 ヶ月と経験も浅く、全体像をイメージすることが困難でした。ただ他の受講生の方々は支援に向けてどの職種からどんな情報が必要かを理解されており、とても刺激になりました。改めて MSW の役割として、他職種と連携を取りながら全体像を把握する能力が大切と感じました。そして患者さんにとってのいきがいや要望をキャッチすることで、より患者家族に寄り添った方針や支援が提案出来ると感じました。この研修で同じ事例内容であっても、他のグループと最終的な方針が異なりました。アセスメントから得た情報量や、そのチームの捉え方の違いで方向性が変わることを実感しました。現場でも完璧な理想は難しく、どれが正解だったかと悩む場面も多々あります。こういった事例や勉強会では、間違ってる合ってる関係なく様々な意見を出し合えるのが、素晴らしいと思いました。そんな視点もあったのかと新たな発見や経験にもなり、制度や知識とともにアップデートしていきたいと考えます。私は現在回復期病棟なので、支援介入時の患者

家族からインテークの質、また入院中に変化する気持ちに応じて、支援内容も臨機応変に対応できるよう知識の幅を広げていきます。そしてチーム医療として、MSWの役割、他職種の意見を組みまとめる為に、日々コミュニケーションを図り相談や意見しやすい環境作りを目指して参ります。

2023 年度初任者研修を受講して

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 仲田 昌雄

私は沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの地域医療連携室にて病院社会福祉職として勤務している仲田 昌雄と申します。

今回、沖縄県ソーシャルワーカー協会主催の初任者研修を受講させて頂き、実際に活躍されている MSW の先輩方より実践に活かせる知識をたくさん学ばせて頂きました。

私は、令和5年4月より現在の職場で勤務しております。前職は介護支援専門員(ケアマネージャー)として働いていました。

ケアマネ時代は地域の高齢者を中心に支援を行っており、制度的には介護保険制度を中心に利用者支援を実践していました。

しかし、MSW として働くにあたり、対象が成人から高齢者まで幅が広がり、地域も離島を含む沖縄県全域に広がりました。支援に必要な制度も、健康保険制度はもとより障害者自立支援法や雇用保険制度等、様々な制度を横断的に理解や説明しなければいけないことに気づき、自分の経験や知識不足を痛感していました。

そんな時、初任者研修の案内があり、すぐに受講することを決めました。

受講した中で、支援者としてのあり方を考えさせられる内容の講義を多数受けることが出来、病院ソーシャルワーク実践に大きく役立っておりました。

今後も、多くの研修に参加し学びを深めて行き、患者支援を実践していきたいと思っています。

自主勉強会報告

自主勉強会報告 めだかのホームルーム

沖縄協同病院 地域連携課 仲村千晶

めだかのホームルームはおおむね実務経験年数4年以上のソーシャルワーカーを対象とした自主勉強会です。持ち回りで事例を出し合い、グループスーパービジョン形式で事例検討を行います。一人一人が質問し、ケースの理解を深め、さまざまな角度から事例をみていく流れです。

11月14日(火)は新垣さんより『友人からの看取り依頼—専門職としてのかかわりと友人としての立場』というタイトルで、友人Aさんの支援経過を報告してもらいました。

MSWとして友人や親族を支援する際、どこまで支援するのか線引きに悩むことがあります。同世代、働き盛り、子育て中などライフステージの道半ばで最期を迎えることになった友人の支援となると、感情をコントロールしながらの冷静な判断が難しくなることも考えられます。

幼少期からの友人であるMSWへ自身の看取りの相談をしたAさん。MSWはそこまで親しいとは言い難いAさんへの関わり方に対し、どこまで踏み込んでいいのか判断に悩んでいました。友人Aさんの人となりを専門職として多角的にアセスメントし、Aさんの心の動きにも寄り添いながら、夫を含む支援者や、幼い子供たちのことを丁寧に確認し支援しました。

退職間近に控えたMSWにAさんからお礼の言葉と個人的なLINEの相談の依頼があった。MSWは「いつでも連絡してほしい」と伝えたことでAさんにとってお守りの様な安心感があったのではと思いました。

Aさんの様な患者さんがもつ価値観や大切にしたい思いなどを理解し、多面的な役割を尊重しながら、本人の色々な思いに寄り添うことの大切さを改めて感じた事例検討でした。

新垣さんの様にケースが終了した今でも本当にこれで良かったのかなど、心に残っている大切なケースこそ振り返ることが多くなると思います。あなたも整理がつかない事例や心残りの事例などありませんか。ぜひご参加をお待ちしています。

実習生受入報告

沖縄リハビリテーションセンター病院 地域連携部 照屋 智教

コロナウィルス流行期間はソーシャルワーク実習受入れを中止しておりましたが、今後の社会福祉士を育てる一役割として、実習生の学びの場を提供する機会ではないかと話し合い、約4年ぶりに沖縄国際大学より1名の実習生を新カリキュラム内容で受け入れました。しっかりと実習生の意向に添えるのかと不安もありながらの23日間の実習開始となりました。

■当院の実習内容

(前半)体験・見学:精神科病棟、老人保健施設亀の里、地域包括支援センター西部南

高次脳ディケア・精神科ディケ見学:近隣急性期病院への見学

インターク面談・カンファレンスへ参加

(後半)ケースを担当。面談・アセスメント・個別支援計画書作成

不慣れな中での新カリキュラムで、実習生には申し訳なく思いながらの実施や振り返りでしたが、実習日誌では課題・成果内容をしっかり実習生自身の言葉で明確に記載され、感心するばかりでした。改めて新カリキュラム変更内容を学び理解していくことが必要と感じます。また当院の実習指導者は現在4名おりますが、担当の負担軽減や部署としての成長の観点からも実習受け入れが後輩育成に繋がっていけばと思います。

新入会員紹介

中頭病院 医療相談室 仲村 志織

はじめまして。今年の4月に中頭病院へ入職しました、仲村志織と申します。大学時代、様々な講義を受けるなかで、医療ソーシャルワーカーという職種を知り、病院で働くことを目標に、資格取得などを頑張ってきました。

入職してから半年を過ぎたこともあり、職場の雰囲気には慣れましたが、社会福祉制度や医療用語についてはまだまだ知識不足であることから、自主的な勉強はもちろん、様々なケースを通して、理解を深めていけたらと思っています。また、他職種との連携を通して、患者さんやご家族さんにとって最善といえる支援をしていけたらとも思っています。

MSW協会へ入会して間もないですが、これから様々な研修や勉強会などに参加させていただき、他病院の方々と関係性を作つていけたらと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

トピックス

「子ども医療費助成制度」は何歳まで

琉球新報 福祉の窓 2023年11月11日掲載済
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 平良 愛

質問

私には、6年生の長女がいますが、少し病弱なため、病院通いが絶えません。今後、中学や高校に進学した時の医療費負担が気になります。「子ども医療費助成制度」は、何歳の子どもまで受ける事ができるのでしょうか？

回答

「子ども医療費助成制度」は昨年(令和4年)から対象年齢が広がりました。沖縄県では、令和4年4月から、全市町村で中学校卒業までの子ども医療費(保険診療に限る)が、窓口負担ゼロで安心して受診できるような取り組みが始まりました。

これまで、保険診療における子どもの医療費の窓口負担は、原則小学校入学前までは2割、小学生以上は3割の負担割合が発生していました。子ども医療費助成制度は、お住いの市町村にて受給認証をもらい、医療機関窓口で提示することにより、原則として代金を支払うことなく医療サービスを受けることができるようになります。

これまで、一部の市町村で小学生～中学生のお子さんの受診の時は、一旦窓口支払いを行い、後日払い戻し(自動償還払い)となっていましたが、令和5年の10月時点で、沖縄県内の全市町村で中学生までの通院/入院の費用が現物給付として受けることができるよう

なっています。

このように、子育て世代の家庭が子育てへの不安を少しでも減らして安心して受診できるよう年々制度が改善されており、対象を高校生まで広げて医療費負担を軽減できるように整えている市町村は現段階で 18 市町村あります。(お住いの市町村によって対象範囲や助成方法が異なりますので詳しくは市町村窓口にてご確認下さい)

入院中の金銭管理について

琉球新報 福祉の窓 2023年12月9日掲載済
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 濱川 秋帆

質問

私の知り合いの一人暮らしの80代男性が、最近緊急入院しました。入院前は、身の回りの事などは不自由なく暮らしていました。しかし入院後、身近に親族もなく、金銭の管理など、どうしたらよいか困っているようです。

回答

入院の場合、入院中の診療に関する事や書類上の手続きなどは、身近な親族によってなされるのが一般的ですが、今回の相談のように、入院費の支払いや金銭管理などを自分でと考える方も多いかと思われ、医療機関や施設入所先の相談窓口には、同様のご相談が寄せられています。

入院中、ご自分の貴重品を管理する場所として、ベッドサイドの床頭台などが設置されている場合もありますが、安心して保管するには至らない場合もあると思います。

このような際に利用できるのが、各市町村社会福祉協議会(社協)の事業の一つである「日常生活自立支援事業」があります。

このサービスは、日常生活において自分で契約などの判断や金銭管理に不安のある方で、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの、判断能力が不十分な方が対象で、内容として、日常的金銭管理援助(医療費の支払いや公共料金の支払い手続きなど)、書類等預かりサービス、福祉サービスの利用援助、その他の日常生活において必要な事務手続きのお手伝いなどです。

上記に該当しない場合、お住いの地区地域包括支援センターに(総合相談、権利擁護)等の相談窓口があります。

入院中、このような窓口の照会や、医療機関などへつなぐご相談も可能ですので、医療ソーシャルワーカーへお声かけください。

各部会からのお知らせ

【 研修部 】

研修部たより

■自主勉強会・めだかの学校

対象	対象者: おおむね実務経験3年以下
日時	未定
参加方法	集合、事前申し込み不要
備考	対象者向けにアンケートを実施予定です。ご協力お願いします。
問い合わせ	大浜第二病院 安慶名(098-853-0103) 博愛病院 永井(098-889-4830)

■自主勉強会・めだかのホームルーム

対象	対象者: おおむね実務経験4年以上
日時	2024年1月9日(火)18:30~ ※奇数月の第二火曜日開催
開催方法	ZOOM開催
内容	事例検討
備考	
問い合わせ	沖縄協同病院 兼濱(098-911-5167)

■自主勉強会・めだかの放課後「事例研究について学ぶ ~実践を理論的に見る~」

対象	会員のみ
日時	2024年2月 予定
参加方法	事前申込
参加費	会員無料
備考	開催日時決定後、協会ホームページ「研修案内」で案内
問い合わせ	沖国大 樋口・大浜第一病院 嘉手納(098-866-5171)

2023年度初任者研修のアンケート結果を公式LINEに掲載しています。

よければご覧になってください♪

【 広報部 】

- ・新企画検討中 アイデアも隨時募集中!!
- ・「ゆたしく うにげ～さびら」(自施設、部署など紹介コーナー)では、
会員所属の病院、施設の魅力を絶賛掲載中!!

掲載希望の方は事務局 Eメールでご連絡ください！

【 社会活動部 】

特になし

理 事 会 議 事 錄

11月理事会議事録

2023年11月20日(月)19:00～20:30

場所:沖縄県総合福祉センター リモート併用(Zoom)

【出席者】

- ・対面:新垣哲治会長(司会)、當銘由香副会長、秦克之副会長、安慶真樹名副会長、伊禮智則事務局長(連絡)、樋口美智子、長原野、池間俊、大城将平、宮城郁美(書記)、高澤信哉、
- ・委任者:高江洲アヤ子、香村真範、大嶺洋、奥平藤也、宮城幸之祐、玉那霸夏汀

＜各部報告・協議事項＞

〔研修部〕 以下の報告を受けました。

□研修部活動報告

①中堅者研修 担当:池間

今年度の開催なし。九州協議会の相乗り研修への参加で振替とする。

②その他研修

県 SW 協会特別研修会・がん相談員実務者研修会(琉大主催のがん相談員研修と共に)

テーマ「自己肯定感を高める支援～クライエントも支援者も共に～」

講師:川村隆彦先生(神奈川県立保健福祉大学 准教授)

日時:12/16(土)14時～17時、沖縄県医師会館(南風原町)

参加募集人数:30名

(2)自主活動支援

①めだかの放課後『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう！』

11月29日(水)19時～ZOOM 事例発表者 那覇市立病院/松田隆

問い合わせ先:沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納

②めだかのホームルーム 担当:兼濱

2023年度 第4回 11月14日(火)18時30分～ZOOM

事例発表/元久米島病院 MSW 新垣みすず

③めだかの学校 担当:永井・安慶名

2023年度2回目 11月21日(火)19時～ 対面

テーマ「身体障害者手帳」 講師 大浜第一病院/當銘由香

(3)九州協議会関連事業 担当:香村、池間

鹿児島県 MSW 協会 「経過記録で対人支援専門職の実践過程を可視化する F-SOAIP」

講師:国際医療福祉大学 高石麗理湖 先生

10/28(土)開催。当県からは3名の申し込み。生活支援型記録について講演ありました。

〔広報部〕 以下の報告を受けました。

□MSW ニュース 12・1月号(No.134)編集: 大城さん(沖縄リハビリテーションセンター病院)

MSW ニュースの原稿作成は県立中部病院へ依頼予定。

□協会公式 LINE 加入者数(ターゲットリーチ):145名(前月比-1名)

□協会 HP 閲覧数:1129件(前月比-158件)

〔社会活動部〕 以下の報告を受けました。

□福祉の窓

12月9日(土)掲載 担当窓口:勝山病院 原稿締切日:12月6日(水)

□SW 学会・福 祉公開セミナー 報告

開催日:2月24日(土)に変更になります。WEB開催予定です。

午前は事例研究発表、午後基調講演の講師:NPO 法人 鹿児島理事長芝田淳さんを予定。

〔事務局〕

□入退会報告

入会届: 0人

所属先変更: 0人

退会届: 1人

□会員名簿:会員数 140名

□会費 10/17に銀行口座引落し手続き済。滞納・残金不足の方は12/1迄に振込依頼の督促状郵送中。5名連絡付かず、退会手続きを進めます。

[沖縄県入退院支援連携デザイン事業]以下の報告を受けました。

□一般住民等説明会:2023年11月2日(多良間村)、

・小規模離島等意見交換会:2023年12月7日(久米島町・久米島病院、他離島市町村)

　>打ち合わせ会議:11月16日(木)15:00～ZOOM、新屋・折戸・長・樋口

・11/2 多良間村の参加人数:36名(村長・施設職員・一般)動画鑑賞・講義・意見交換を行った

・12/7 久米島の意見交換会の役割分担の確認。久米島村役場の主幹・包括支援センターとの意見

　交換会についてはZOOM配信にする(1時間の予定)

・多職種研修会:2024年2月14日(水)PM19:00～「身寄りなし問題」対応ガイドラインについて→ZOOM研修予定

・小規模離島市町村対象の入退院支援連携に関するアンケート実施:

・11市町村の半分は、アンケート返信あり。

・「身寄りなし問題」等についてアンケート実施。最終の確認を中頭病院で行う。

・「心得漫画動画 WG」:6/8、7/20、9/20、11/24

　>12月中旬:漫画編集・調整、12月末:印刷・発注、動画製作、1月:調整・校正等、
2月末:納品、3月上旬:発送予定

(その他)

・各部会(在宅部会・がん部会・脳卒中部会)からの会議内容の報告

＜その他 報告協議事項＞

□県医療政策課:令和5年度厚生労働省委託事業「在宅医療関連講師人材養成事業」における研修会実施について

・第8次医療計画に委員の推薦依頼あり。中頭病院の秦さん

□第31回日本糖尿病眼学会総会「メディカルスタッフシンポジウム」シンポジスト派遣について

・シンポジストの派遣を行う事で理事会にて了承。開催日程は再来年1/25～4演題(各25分)

※次回理事会 2023年12月18日(月)19:00～ ※ハイブリッド形式で開催
司会:樋口 書記:高江洲 連絡:香村
議事録署名人 新垣 哲治

12月理事会議事録

2023年12月18日(月)19:00~20:00

場所:沖縄県総合福祉センター リモート併用(Zoom)

【出席者】

(会場)新垣哲治会長、安慶真樹名副会長、伊禮智則事務局長、樋口美智子(司会)、長原野、大城将平、玉那霸夏汀

(ZOOM)當銘由香副会長、秦克之副会長、池間俊、高澤信哉、高江洲アヤ子(書記)

【委任者】香村真範、奥平藤也、大嶺洋、宮城郁美、宮城幸之祐

＜各部報告・協議事項＞

〔研修部〕以下の報告を受けました。

□研修部活動報告

1. 県SW協会特別研修会・がん相談員実務者研修会(琉大主催のがん相談員研修と共に)

テーマ「自己肯定感を高める支援- クライエントも支援者も共に一」

講師:川村隆彦先生(神奈川県立保健福祉大学准教授)

日時:12/16(土) 14時~17時、沖縄県医師会館

参加人数 19人 担当:安慶名・大久保

2. 自主活動支援

①めだかの放課後『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう!』

11月29日開催 参加者8名

→次回2月予定。決まり次第LINEで案内。

②めだかのホームルーム 担当:兼濱

2023年度 第3回 11月14日(火) 18時30分~ZOOM

事例提供者 元久米島病院 MSW 新垣みすずさん 参加者6名

次回 第4回 R6 1月 9日(火) 事例提供者:玉那霸夏汀

③めだかの学校 担当:永井・安慶名

2023年度 2回目

2回目 テーマ「身体障害者手帳」 講師 大浜第一病院/當銘由香

11月21日(火) 19時 開催 参加者人数 16人

アンケート調査してテーマを検討中。開催曜日も検討中。

3. 九州協議会関連事業 担当:香村、池間

鹿児島県MSW協会 全体研修案内 開催日10月28日(土) 沖縄から参加者3名

11月佐賀県開催分は集合研修のため県内には案内せず。

次年度 大分大会の時に研修枠あり(6/15.16)。九州協議会研修メンバーが企画。

テーマ案「ソーシャルワーカーの未来を考えたことがあるか、何を大事にしながら何を未来図として描いていくべきなのか」内容は来月か再来月に会議をもつ予定。

- ・九州協議会研修の開催について、2024年長崎県、2025年佐賀県、2026沖縄県が予定となっている。

4. 2024年度の研修スケジュールについて

- ・初任研は開催なし（隔年開催のため）
- ・総会時の研修（診療報酬・介護報酬改定）
→講師検討 介護報酬については老健やケアマネ団体へ講師依頼も。
- ・研修3つを予定：
①総会時の診療報酬についての研修②中堅者向け③めだかの学校での抱き合わせなどを検討

他団体との合同開催も活用（慢性期、デザイン事業、ほか）

テーマ案：自己覚知、身よりなし（どの角度から取り扱うか、事例形式でもよい）

5. 初任研講師謝金の講義時間に応じた設定 時間は関係なく1コマ2,000円とする。

6. 初任者研修アンケート1回目～4回目 まとめて掲載

〔広報部〕以下の報告を受けました。

- MSWニュース No.134(1月号)編集：沖縄リハビリテーションセンター病院／大城さん
- 協会公式LINE加入者数：147名（前月比+1名）
- 協会公式HP閲覧数：1,452件（前月比+323件）
- 掲載予定：はいさいワーク（北中城若松病院・ハートライフ病院）、初任研アンケート結果

〔社会活動部〕以下の報告を受けました。

- 福祉の窓 1月6日掲載 担当病院若松病院 原稿締切日1月3日
- SW学会 開催日2月24日（土）シンポジスト調整中 オンライン開催

〔事務局〕以下の報告を受けました。

□入退会報告

入会届： 0人

所属先変更： 0人

退会届： 1人

□現況届を1月に実施予定。 グーグルフォームで行う（個人ごとの入力）。

□過去の研修受講歴の問い合わせがあれば、照会して協会名で回答しても良いことを確認した。

□地域包括支援センターからの要望

那覇市内の複数のセンターより、病院から退院患者・家族へ「総合事業の利用ができる」という案内があり誤解が生じている。アセスメントをしたうえで繋いでほしいとの要望があった。

〔沖縄県入退院支援連携デザイン事業〕 以下の報告を受けました。

- 11/24(金)19:00～心得漫画・動画ワーキングを開催した。現在色付け中。セリフと説明文は見直しを行う。1月に最終確認を行う。
- 12/7(木)久米島にて ACP・心得の意見交換会を開催した。並木医師とのヒアリングでは、久米島の社会資源や看取り件数(10～20件/年)について教えて頂いた。社会資源が乏しく、居宅介護支援事業所の閉鎖や地域包括支援センターのケアマネの欠員など、本島に依存していることが困りことである。身寄り問題は久米島でも発生している。
- 12/14(木)中頭病院にて身寄りなし問題アンケート項目の最終確認を行った。グーグルフォームにて、今回は病院、特養、老健、有料老人ホームに絞って実施する。
- 2/14(水)19:00～身寄りなし問題について多職種連携研修会を開催する(ZOOM)。

＜その他 報告協議事項＞ 以下の報告を受けました。

- 「両立支援に取組む機関」として沖縄労働局ホームページ内へのリンク依頼について確認しました。
- 九州会長会にて、会費から研修部の費用を捻出することになった。
- 第8次医療計画、各委員会、部会の報告を受けました。
- 各部会部長・副部長は、新役員名簿案を1月理事会当日までに提出頂きたい。

※次回理事会 2024年1月15日(月)19:00～ ※ハイブリッド形式で開催

司会:安慶名 書記:伊禮 連絡:長

議事録署名人 新垣 哲治

☆ 編集後記 ☆

年末間近になり沖縄もようやく寒さを感じるようになってきました。今年は暖冬とはいいますが、やはり寒いものは寒いですよね。

師走の12月、クリスマス、正月と忙しさも楽しみも盛りだくさんの時期です。

皆さんお体ご自愛下さい

MSW 協会 公式 LINE 加入のご案内

協会名を検索して「友だち追加」で完了！



<https://www.msw-oaswhs.jp/>



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
Okinawa Association of Social Workers In Health Services